

平成28年3月17日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

経済建設常任委員会委員長 川俣純子

予算審査結果報告書

本委員会に平成28年3月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成28年3月11日（金）及び14日（月）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室
- 3 出席委員 川俣純子、小堀道和、相馬正典、佐藤昇市、高田悦男、平塚英教
- 4 説明のための出席者
農政課長 糸井美智子、商工観光課長 堀江功一、環境課長 薄井時夫、
都市建設課長 高田喜一郎、上下水道課長 大谷頼正、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の平成28年度那須烏山市の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

農政課

- ・農林水産物の六次産業化、地域ブランド化は本市の生き残りのためには欠かすことのできない取り組みである。中山かぼちゃも含め一つでも二つでも成功事例を生み出せるように関係機関と力を合わせ、あらゆる可能性を探りチャレンジされたい。
- ・農業従事者の高齢化、後継者不足は本市の農業を取り巻く大きな課題の一つである。新規就農者への技術面・資金面での支援、農業法人や営農集団の設立や経営に関する支援などを充実させ、今後の担い手の確保・育成にさらに努められたい。
- ・水利費が農家の大きな負担になっている。また、農地集積の妨げになっていることも否めない。水利の維持管理には費用がかかるものであり、制度的にも簡単に解決できる問題ではないことは承知しているが、機会を捉え国県に窮状を訴えるなど、解決への方策を模索されたい。

商工観光課

- ・平成28年度からまちづくり課に一部の業務が移管することにより、各種イベントに対応するマンパワーの減少が想定される。過度な負担にならないよう全庁的な協力体制で臨まれたい。また、駐車場警備など職員でなくとも対応できる業務については外部委託も視野に入れ、効率的かつ効果的な運営を心がけたい。
- ・ユネスコ無形文化遺産登録に向け、山あげ会館の整備に取り組んでいるところであるが、計画では山あげ祭をまたぐ工期とのことである。急ぎで整備が必要なものと

そうでないものを見極め、山あげ祭の際に不便を来すことのないよう取り組まれたい。

環境課

- ・ごみ処理に係る費用は増加傾向にあるが、安易に市民に負担を求めることは慎むべきと考える。まずは市民の協力を得て分別収集を徹底し、確実なリサイクルを実施することで費用の圧縮に努められたい。なお、市民の協力を得るためには、啓発が不可欠と考える。小中学校で環境教育を推進するとともに、例えば「ゴミの日」を設けるなど、家庭から環境を考えるきっかけを提供するような取り組みを検討されたい。

都市建設課

- ・今後、市全体の予算規模が縮小していく一方で、維持管理に係る経費は増大し、新たな道路整備に充てる費用は限定的にならざるを得ない。投資的事業にかけられる費用の総額の推移を示し、選択的に事業を進める必要があることについて市民のコンセンサスを得られたい。
- ・平成28年度より始まる民間賃貸住宅家賃補助事業は、新たな市営住宅の設置費用を捻出できない本市の状況下にあつて、民間の力を活かし問題解決を図った優良な施策であると感じる。当該事業を積極的に使うことで、老朽化した市営住宅への費用投下はできる限り抑制されたい。また、若年層の定住促進、さらには地方創生を進めるツールとして上手に活用されたい。

上下水道課

- ・本市は、今後人口が減少し、使える予算は少なくなっていくが、老朽化した上下水道施設の維持管理に係る費用は増えてくることが予想される。民間の持つノウハウも活用し、施設の延命を図る方策を検討されたい。
- ・平成27年度より開始した下水道区域における未接続世帯の戸別訪問につき、今後も継続的に取り組んでいただけるとのことである。各家庭の事情もあり、簡単に効果が現れるとは限らないが大変有意義なことであると考え。他にもあらゆる場面で地道な普及啓発を行い、接続率が少しでも上昇するよう努力されたい。